

知別貯水池

(ちべつちよすいち)



【所在】

鷹栖町 15 線 23 号
(島中幸夫地先)

【指定年度】

昭和 5 4 年

【標柱建立】

昭和 6 2 年

稲作の発展に寄与した貯水池

大正 2 年 1 月 31 日、谷周吉がチライウエンベツ川の水利用権を申請して、私設灌漑溝の許可を受けており、早くから稲作指向が強かった。欧州大戦の畑作物の高騰で鳴りをひそめていたが、昭和に入ると再び水田指向が高まってきた。すでに大正 12 年 3 月、高嶋農場は八町八反歩の水田に給水する貯水池を出願していた。

昭和元年 7 月 8 日、谷口友吉ほか 9 名の出願で貯水池設置の申請をして、昭和 3 年 6 月 30 日に認可され、工事は認可後 3 カ月以内に着手、1 年以内で竣工すべきことになっており、造田は 5 年以内に完了することになっていた。

昭和 45 年に米生産調整が行われてより 20 数年、この貯水池を利用する農家も 3 戸ばかりになっているという。

昭和 5 年春から通水され、受益面積は 12 町歩である。